

令和2年度  
県産木材の供給及び利用の推進に関する  
県の施策の実施状況

新潟県県産木材の供給及び利用の推進に関する条例（平成30年12月27日新潟県条例第59号）に基づく公表資料

令和3年10月  
新潟県



本資料は、「新潟県県産木材の供給及び利用の推進に関する条例（平成30年12月27日新潟県条例第59号）」に基づいて、令和2年度の県産木材の供給及び利用の推進に関する施策の実施状況を取りまとめたものです。

新潟県県産木材の供給及び利用の推進に関する条例  
（平成30年12月27日新潟県条例第59号）

（公表）

第19条 知事は、毎年度、県産木材の供給及び利用の推進に関し講じた施策の状況を取りまとめ、公表するものとする。

# 目次

## 県産木材の供給及び利用の推進に関し講じた施策

### 1 県産木材の供給を推進する施策（第12条関係）

- (1) 森林の適正な整備及び保全の推進（第1号関係）----- 1
- (2) 森林施業の集約化の推進（第2号関係）----- 2
- (3) 高性能林業機械の導入の推進（第3号関係）----- 4
- (4) 県産木材の加工及び流通の体制の整備（第4号関係）----- 5
- (5) その他県産木材の供給を図るために必要な施策の推進（第5号関係）
  - 人材を育成し、確保するために必要な施策 ----- 6

### 2 県産木材の利用を推進する施策（第13条関係）

- (1) 県産木材及び県産木材を利用した製品に対して信頼感等を与える  
独自の印象の創出（第1号関係）----- 7
- (2) 住宅その他の建築物等における県産木材の利用の推進（第2号関係）-- 8
- (3) 県産木材の販路の拡大（第3号関係）----- 9
- (4) 県産木材の新たな用途の開発（第4号関係）----- 9
- (5) その他県産木材の利用を図るために必要な施策の推進（第5号関係）
  - 自ら率先して整備する建築物等における県産木材の利用 ----- 10
  - 県民等の理解を深めるために必要な広報活動及び啓発活動 ----- 11

## 県産木材の供給及び利用の推進に関し講じた施策

### 1 県産木材の供給を推進する施策（第12条関係）

#### (1) 森林の適正な整備及び保全の推進（第1号関係）

##### ア 森林の保育・植栽の推進

森林が有する、県土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材の生産等の多面的機能を持続的に発揮させるため、下刈り、除間伐などの保育作業により、森林の整備と保全を進めた。また、木材利用が可能なスギ人工林について、間伐により間引いた木の搬出と利用を推進した。

さらに、木を植え、育て、伐採して利用し、再び植えることの繰り返しによる森林資源の循環利用を維持するため、伐採後の植栽を推進した。

##### <令和2年度実績>

全体 1,704ha\*

下刈り 339ha 除間伐 1,255ha（うち利用間伐 806ha）枝打 78ha  
植栽 32ha（人工林の伐採後に植栽（再造林）27ha 天然林等の伐採後に植栽（拡大造林）5ha）

※造林事業、治山事業による森林の保育・植栽面積

##### イ 森林経営管理制度の実施体制の強化

森林経営管理制度\*の主体となる市町村に対して、森林・林業の基礎知識を習得するための研修やアドバイザーによる専門的な業務サポートを実施した。また、市町村の森林経営管理の省力化を図る、航空レーザ計測による効率的な森林資源情報の取得を支援した。

※森林経営管理制度：適切な経営管理が行われていない森林に対して、市町村が森林所有者の委託を受けて経営管理することや、林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林管理の適正化を促進する制度。

##### <令和2年度実績>

市町村林務担当職員研修

5回

アドバイザーの派遣等

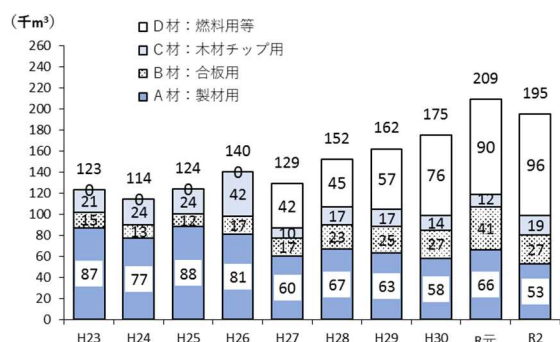
30市町村（全市町村）

航空レーザ計測及び森林資源解析

176.9 km<sup>2</sup>（村上市及び新潟市）

#### 【素材生産量の推移】

近年、製材用、合板用、木質バイオマス発電用などの多様な需要に応じた木材の供給に取り組み、素材生産量は増加傾向にあるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により新設住宅着工戸数が減少したため、素材生産量が前年度より減となった。



資料：農林水産省「木材統計」及び林政課調べ



高性能林業機械（フォワーダ）による、間伐した木材の搬出

## (2) 森林施業の集約化の推進（第2号関係）

### ア 森林施業の集約化

隣接する複数の者が所有する森林を取りまとめて、路網整備や利用間伐等を一体的に実施する施業の集約化は、路網の合理的な配置や高性能林業機械<sup>※1</sup>の効率的な利用が可能となることから、様々な森林施業のコスト縮減を図ることができる。

このため、複数の森林所有者の森林施業の合意形成や森林の境界確認などの活動を支援し、森林施業の集約化を進めた。

#### <令和2年度実績>

・ 森林境界の明確化	5 市町	59 ha
・ 森林所有者の合意形成など森林経営計画 <sup>※2</sup> 作成促進	10 市町	1,336 ha

※森林整備地域活動支援交付金事業による支援



森林所有者への森林施業の計画説明会



森林所有者による現地での森林の境界確認

#### ※1 高性能林業機械

従来のチェーンソーや刈払機等の機械に比べて、作業の効率化、身体への負担の軽減等、性能が著しく高い林業機械のこと。

#### ※2 森林経営計画

「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」が、一体的なまとまりのある森林を対象に、具体的な伐採、造林、森林の保護、路網の整備などに関して樹立する、5年を1期とした計画。森林を集約化により効率的に整備し、まとめて木材を供給していくことをねらいとしている。

森林経営計画を作成し、市町村長から認定を受けた者は、計画に基づく森林施業に対し、国や県の補助事業による支援を受けることができる。

#### 【森林経営計画の認定面積】

期間	団地数	面積
2015.4～2020.3	195	72,971ha

資料：治山課調べ

イ 林内の路網整備

木材を安定的に供給し、森林施業を効率的に行うため、セミトレーラー等が走行する幹線となる「林道」、林業車両が専ら走行する「林業専用道」及び林業機械が走行する「森林作業道」を、それぞれの役割に応じて適切に組み合わせて、路網の整備を進めた。

<令和2年度 実績>

(開設)

- ・ 林道 14 路線 7,854m
- ・ 林業専用道 4 路線 1,205m
- ・ 森林作業道 169 路線 151,348m

(改良)

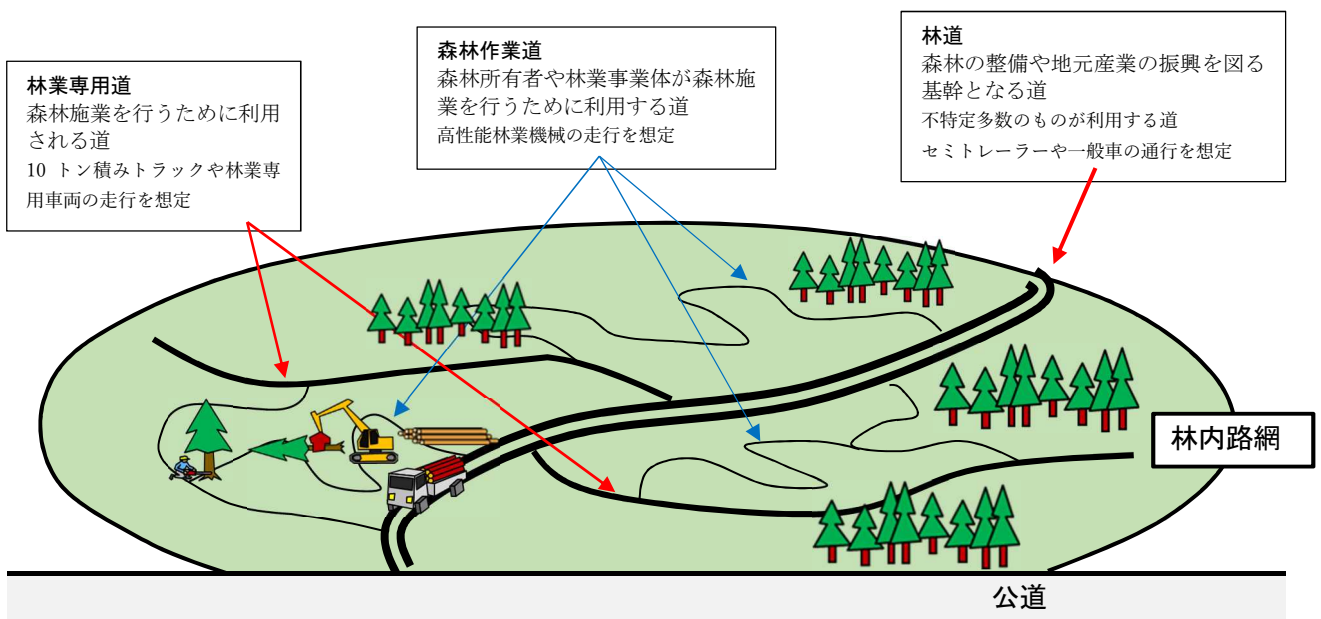
- ・ 林道 44 か所



木材の運搬に供される林道



林業車両が走行する林業専用道



### (3) 高性能林業機械の導入の推進（第3号関係）

高性能林業機械は、従来のチェーンソーや架線集材機等の機械に比べて、作業の効率化や身体への負担軽減等が図られる林業機械である。

素材生産を行う高性能林業機械のオペレーターの技術のレベルアップを支援し、より効率の高い作業方法の普及定着を進めた。

<令和2年度 実績>

・高性能林業機械オペレーターレベルアップ・メンテナンス研修 5事業体



伐倒された丸太を造材するプロセッサの操作研修



造材された木材を運搬するフォワーダの操作研修

#### 高性能林業機械

- ハーベスタ : 立木の伐倒、枝払い、玉切りを連続して行う自走式機械
- プロセッサ : 伐倒された丸太の枝払い、測尺、玉切りを連続して行う自走式機械
- フォワーダ : 玉切りした丸太を、荷台に積んで林業専用道等へ運ぶ集材専用の自走式機械
- タワーヤード : 簡便に架線集材でき、人工の鋼製支柱を装備した移動可能な集材機
- スイングヤード : 木材を集材する自走式機械。建設機械ベースでウィンチを搭載し、旋回可能なアームをタワーとし、主索を用いない簡易集材を行うもの



ハーベスタ



タワーヤード

#### (4) 県産木材の加工及び流通の体制の整備（第4号関係）

県産木材が安定的に生産・加工され、流通する体制をつくるため、素材生産者に対し、間伐材の増産や用途別に仕分け、搬出する取組を支援するとともに、製材工場が望む品質・径級・採材等について認識を共有するための研修会を実施し、市場ニーズに応じた丸太が供給されるよう支援した。

また、製材工場の加工能力を向上させ市場競争力を強化するため、施設整備や生産拡大の取組を支援した。

<令和2年度実績>

(川上)

- ・ 利用間伐により木材の増産に取り組んだ事業体等を支援  
19 事業体・2市町 11,175 m<sup>3</sup>の増産
- ・ 製材工場に供給する製材用木材の仕分けや海上輸送の経費を支援  
5 事業体 924 m<sup>3</sup>の増産
- ・ 用途別に仕分ける技術や採材技術の向上を支援
  - A材仕分け\*研修 7 事業体
  - 採材研修 5 事業体

(川中)

- ・ 県産木材の加工能力が高い製材機械の整備を支援  
1 事業体
- ・ 県産材製品の生産拡大を図る製材工場を支援  
1 事業体



素材生産者を対象にした、市場ニーズに合った丸太を供給するための採材研修会



素材生産者を対象にしたA材仕分け研修会

#### ※木材の仕分けと分類

丸太を加工して生産する木材製品の用途に応じて丸太を区分したもの

A材：通直な原木（主に製材用で住宅等に使用）

B材：やや曲り（合板用で建築部材等に使用）

C材：曲がり材や先端・枝条（木材チップ用…製紙等）

D材：規格は問わない（バイオマス発電用などの燃料材）

(5) その他県産木材の供給を図るために必要な施策の推進（第5号関係）

○人材を育成し、確保するために必要な施策

林業就業者数は減少傾向にあるため、新規就業者を確保するための就業ガイダンスや林業体験講習を開催するとともに、異業種からの新規参入を促進する説明会や見学会を実施した。

また、就業者の定着を図るため、基礎的な林業技術研修を行うとともに、キャリアに応じた現場技術等の研修を支援した。

<令和2年度実績>

・林業就業者の確保

就業ガイダンス、林業体験講習	3回延べ	48人
就業相談会の開催	6回	32人
林業就業を目指す若者等に対する生活資金の給付	給付実績	2人
異業種からの新規参入を促進する説明会・見学会	6回延べ	69人

・林業就業者の育成

フォレストワーカー※育成研修		11人
技術をキャリアアップするための現場技術研修 (現場指導者育成、高性能林業機械の操作(再掲)、作業道開設)	3講座	19人
森林施業プランナー※育成研修		7人
異業種からの新規参入事業体のOJT※研修		4事業体

・労働災害防止のための取組

県内林業事業体を対象とした林業労働安全大会	1回	48人
-----------------------	----	-----



高校生を対象にした林業体験講習



現場指導者を対象にした伐採技術研修

※フォレストワーカー（林業作業士）

林業作業に必要な基本的な知識、技術・技能を習得して、安全に作業を行うことができる人材のこと。

※森林施業プランナー

森林所有者から森林の経営の委託を受け、面的なまとまりを持つ森林経営計画（※再掲）を作成できる。また、森林施業の内容や事業収支を森林所有者に提案し、施業を受託できる人材のこと。

※OJT（On the Job Training）

職務現場の実務を通じて指導し、知識・技術などを身に付けさせる教育手法

## 2 県産木材の利用を推進する施策（第13条関係）

### (1) 県産木材及び県産木材を利用した製品に対して信頼感等を与える独自の印象の創出（第1号関係）

県産木材製品の品質向上を図るため、高品質な木材製品の製造を担う人材を育成する取組を支援した。

また、地域から生産された木材を利用した製品のPRを支援するとともに、その魅力を県民に発信した。

#### <令和2年度実績>

- ・ 木材製品の品質向上を担う人材を育成する取組を支援  
（製材技術向上研修会、製材等品質管理講習会等） 4事業体
- ・ 県内各地の地域産材を利用した製品の魅力を発信する取組を支援  
上越産材によるベンチ・テーブルを展示・PR（上越市）  
県産木材による木工品の展示・PR（村上市ほか）  
村上産材による地域店舗のPR看板設置・PR（村上市）  
糸魚川産材のPRチラシ作成（糸魚川市）



木材の品質や乾燥、木材強度等について学び、製材品の品質向上を図る製材技術向上研修会



上越産のスギを利用したベンチ・テーブルを地元のキャンプ場に設置・PR



村上市のセミナー会場にて、県産木材の木工品を展示・PR



村上市の歴史的風致形成店舗制度と連携し、村上産スギを利用した店舗看板を設置・PR

## (2) 住宅その他の建築物等における県産木材の利用の推進（第2号関係）

新型コロナウイルス感染症により新設住宅着工戸数が減少する中、住宅分野における県産木材の利用を促進するため、工務店と建築主の県産木材利用を支援した。

また、県産木材を使用した住宅等の完成見学会で建築業者等が行う県産木材PRの取組を支援した。

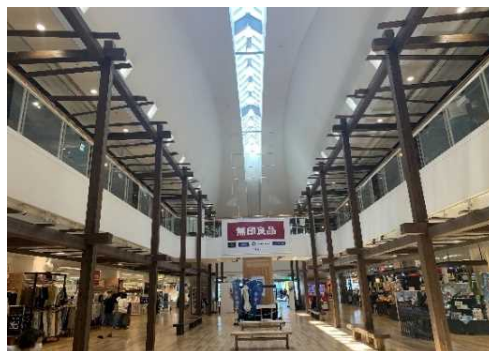
さらに、県産木材の利用促進を図るため、保育園や商業施設などの非住宅分野での県産木材使用を支援した。

### <令和2年度実績>

- ・ 県産木材の利用拡大を図った工務店等を支援  
384棟（県産材製品使用量 4,648 m<sup>3</sup>）
- ・ 県産木材を利用して住宅の新築・リフォームを行った建築主を支援  
177棟（県産材製品使用量 2,728 m<sup>3</sup>）
- ・ 県産木材を使用した建築物の完成見学会の開催による県産木材のPRを支援  
24件（14工務店）
- ・ 県産木材を利用した非住宅分野の木造化・内装木質化を支援  
公共的施設 8件（福祉・保育施設4、地域集会施設2、観光施設2）  
商業施設 4件（金融施設2、宿泊施設1、店舗1）



県産木材を柱や内装で利用した住宅



県産木材を内装で利用した店舗  
(ショッピングセンター内装)



県産木材を使用して建築した観光施設  
(登山道トイレ)



県産木材を利用した保育施設  
(ウッドデッキ)

(3) 県産木材の販路の拡大（第3号関係）

非住宅分野での県産木材の利用促進を図るため、中・大規模建築物の木造・木質化を担う設計者の技術研修を支援した。

<令和2年度実績>

- ・中・大規模木造建築物の設計者養成研修会 (全2回) 87人
- ・中・大規模木質構造の設計手法
- ・民間需要に対応した事例紹介



中・大規模木造建築物の設計者養成研修会の内容

(4) 県産木材の新たな用途の開発（第4号関係）

森林の高齢化による丸太の大径化に伴い、その丸太の建築用材としての活用の幅を広げるため、木造住宅部材で最も多くの材積を占める梁・桁に使われる平角材※への活用を狙いとして、森林研究所において「新潟県産スギ心去り平角材の利用技術の開発」※を進め、その研究成果から技術解説書を改訂し、普及を進めた。

<令和2年度実績>

- ・スギ心去り平角材について、乾燥技術、曲げ強度の研究開発
  - 「新潟県産スギ心去り平角材の乾燥技術」
  - 「新潟県産スギ心去り平角材の曲げ強度」 研究成果実績：2課題
- ・技術の普及
  - 上記研究成果から技術解説書を改訂し、県内製材工場に配布・普及 69事業体

※「新潟県産スギ心去り平角材の利用技術の開発」（研究期間：令和元年～2年）

県内の森林の高齢化による丸太の大径化に伴い、スギ大径材の建築用材への活用が求められていることから、スギ大径材から効果的に木取を行うため、心去り構造材※について生産技術の開発及び普及を進めた。（平成29年～令和元年）

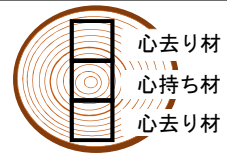
さらなる建築用部材への活用を広げるため、心去り平角材※について、木材乾燥による割れの特性などを明らかにし、乾燥手法や、曲がり強度の検証を行い、生産技術を開発した。

ひらかく  
※平角材  
断面が長方形で、梁や桁といった住宅構造材として用いられる。  
（右参照）  
なお、断面が正方形のものは正角材と呼ばれる。



平角材

しんさ  
※心去り構造材  
製材品において立木の樹心を含まない材料のこと。  
樹心を含む材料は心持ち材という。（右参照）



【原木丸太断面】

(5) その他県産木材の利用を図るために必要な施策の推進（第5号関係）

○自ら率先して整備する建築物等における県産木材の利用

県産木材の良さや利用することの意義への理解促進や、県産木材の需要拡大を図られるよう、県が建築する施設において県産木材の利用を推進した。

また、県庁内の関係課長で構成される「県産材利用推進会議」を開催し、県産木材の利用を一層進めるための基本方針<sup>※</sup>や利用実績・計画を確認し、県産木材の利用促進を図った。

<令和2年度 実績>

- ・ 県が整備した公共建築物のうち木材利用が可能な施設の全てで県産木材を使用  
17施設 286 m<sup>3</sup>
- ・ 県が発注する公共土木工事等で県産木材を使用  
601 m<sup>3</sup>

（ 県民生活・環境部（木道・階段工など）  
農地部（板柵、雪囲板など）  
土木部（防護柵など）  
農林水産部（丸太階段など） ）



県産木材を利用した高校の特別教室棟（外観）



県産木材を利用した高校の特別教室棟（内装）

※ 「公共建築物等における県産材利用推進に関する基本方針」

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成22年 法律第36号）第8条第1項の規定に基づき、公共建築物等における木材の利用の促進のための施策に関する基本的事項等を定めたもの（平成15年11月18日制定）

○県民等の理解を深めるために必要な広報活動及び啓発活動

森林の役割や県産木材の利用の意義等について県民の理解を深めるため、木材の伐採から利用までの一連の流れをマスメディアが取材するツアーを開催し、テレビやラジオで取材内容が放送された。

また、新潟ふるさと村やこども創造センター（新潟市）など、県民が多く訪れる施設で県産木材製品の展示会や木工教室を実施し、県産木材の魅力を伝えた。

<令和2年度 実績>

- ・マスメディアや工務店、製材工場等が参加した県産木材利用PR取材ツアー  
参加者 18社  
[10/29(火) 糸魚川市の生産・伐採・製材加工現場・県産木材利用住宅など]  
[メディア放送 BSN新潟放送・NST新潟総合テレビ・BSNラジオ・WEB掲載] 計5回
- ・県産木材の展示会や木工教室  
[10/8～2/14 新潟ふるさと村アピール館 期間内来場者数：約6.5万人]  
[10/8～2/14 こども創造センター(新潟市・いくとぴあ食花) 来場者数：約4.5万人]



県産木材の生産・加工から利用までマスメディア等が取材するツアー（木材の伐採、搬出現場取材）



県産木材製品の展示会（こども創造センター）